

研究テーマ	<p>[V 造形教育の広がりを考える]</p> <p>デザインのもつ役割や良さを味わいながら、美術作品と人とのつながりを考えることができる題材開発</p> <p>～中学校1年「土浦市の絵はがきをつくろう」の実践を通して～</p>
-------	--

土浦市立土浦第三中学校 青木麻理子

1 研究テーマについて

美術作品の存在意義というのは、生徒にはわかりづらいものである。「美術なんて生きていくうえで関係ないものいらないもの」と安易に判断している生徒は少なくない。しかし、実際は美術がもたらす精神的豊かさは人間社会の中でなくてはならないものである。よって、生徒が美術の役割を考える、また味わうという機会をもつことは大変重要である。

学習指導要領の改訂の趣旨のひとつに「創造性をはぐくむ造形体験の充実を図りながら、形や色などによるコミュニケーションを通して、生活や社会と豊かにかかわる態度をはぐくみ、生活を美しく豊かにする造形や美術の働きを実感させるような指導を重視する」とある。これは作品が人と人をつなぎ、人々の心を満たしていくという美術のひとつの力の姿を表していると思うが、これを理解するには、生徒にとってはデザインの分野が比較的わかりやすいのではないかと考えた。また題材を地域と密着した絵はがきのデザインにすれば、美術が単なる学校の学習の範囲だけにとどまらず、社会とも繋がっていけるものだという明確な認識をもたらし、同時に自分の思いを形にする喜びを得やすいのではないかと考えた。

2 実践例

(1) 題材名 土浦市の絵はがきをつくろう

(2) 題材の目標

地域をテーマに絵はがきのデザインをつくることにより、デザインの役割を知り、デザインの良さを味わうことができる。また、デザインがもたらす発信力に気づき、人と人をつなぐ美術の力について考えることができるような学習の場を提供する。

(3) 題材について

デザインは、生活と密着したものであり、豊かな生活には欠かせないものである。また、デザインには、そのデザインとなった狙い（制作者の意図）が必ずある。中学校1年生はデザインの分野の学習は初めてであり、デザインとはどのようなものかということ考えたことがない生徒が多いので、まずはデザインの有効性と良さを味わえるきっかけづくりができればよいと考えている。

本題材は、非常に限られた時間の中で、平面デザインの学習を充実させるために2つのポイントを重視した。一つは、時間短縮のためには、描く面積が小さいものであること、もう一つは、誰もが簡単に描ける形を基本とすることである。そこで画用紙は、ハガキサイズに近い八つ切りの画用紙の4分の1の大きさにして描く面積を小さくし、着彩の際に多くの時間を要しないようにした。またモチーフは土浦市の特産物であるレンコンに限定した。これは、形そのものが非常にデザイン性がある上に誰もが簡単に描けるという特徴を持ち、生徒も日頃から親しんでいる地域に根ざした物産であるため、完成度の高い作品を描きやすいのではないかと期待できる為である。

完成した生徒の作品の一部は本校のホームページに載せ、また土浦市のホームページとリンクさせる。そのことで、生徒は、土浦市のイメージ（自分の思い）を作品を通して世の中に発信するという実体験（掲載されない生徒は疑似体験となる）をすることになり、デザインにあるメッセージ性を生徒が改めて発見することを期待したい。

(4) 題材の評価規準

美術への関心意欲態度	発送や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
土浦市へのイメージをまとめあげ、それをデザイン化することに興味を持つことができる。	土浦市へのイメージの中から絵ハガキのデザインに表せるものを選び、構成美の要素を取り入れながらデザイン構成をすることができる。	構成美の要素を取り入れてバランスのとれた美しい作品に仕上げることができる。	土浦市のイメージを表したデザインから作者の思いとデザインの美しさを感じ取ることができる。

(5) 指導と評価の計画 (6時間扱い)

※○印は時数

時間	学習内容・活動	評価基準・【評価方法】
第1次 ①	<ul style="list-style-type: none"> 課題の内容を確認する。 構成美の要素を画像と作品例を通して理解する。 土浦市へのイメージをまとめ上げるために、土浦市と言えば何を思い浮かべるかを言葉で書き出す。 	<ul style="list-style-type: none"> 構成美の要素について、関心を持って話を聞き、問い掛けに積極的に発表している。 関【観察】 土浦市のイメージを表す言葉をたくさん書き出すことができる。 関【ワークシート】
第2次 ①	<ul style="list-style-type: none"> 土浦市のイメージを色で表すことができるように、色の作り方や色が持つ力について学ぶ。 ポスターカラーの扱い方について簡単に復習する。 構成美の要素を取り入れたレンコンをモチーフとしたデザイン画(案)の作成に取り掛かる。 	<ul style="list-style-type: none"> 色について、またポスターカラーの扱いについて、関心を持って話を聞き、問い掛けに積極的に発表している。 関【観察】 レンコンのデザインを工夫したり、構成をいくつか考えて、デザインをまとめようとしている。 想【ワークシート】
第3次 ①	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き作品の構成を考える。 構成がまとまったら、画用紙に鉛筆で下絵を描く。 土浦市のイメージをまとめる。 <p style="text-align: right;">(本時)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 土浦市について自分が持つイメージの中からデザイン化するものを選び、まとめることができる。 想【ワークシート】 構成美の要素を取り入れたデザインのポイントを理解して、定規やコンパスなどを用いながら、効果的な表現ができています。 技【作品】

		<ul style="list-style-type: none"> デザインにこめた土浦市のイメージを自分の言葉でまとめることができる。 <p style="text-align: right;">鑑【ワークシート】</p>
第4次 ②	<ul style="list-style-type: none"> イメージが表せるように色を選択し、ポスターカラーできれいに着彩する。 	<ul style="list-style-type: none"> ポスターカラーを適切に使いこなし、むらなく均一に塗ることができている。 <p>技【作品】</p>
第5次 ①	<ul style="list-style-type: none"> 友達の作品を鑑賞する。 鑑賞をした感想などを鑑賞カードにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達の土浦市のイメージを感じ取ることができる。 <p>鑑【観察・鑑賞カード】</p>

(6) 本時の展開

① 目標

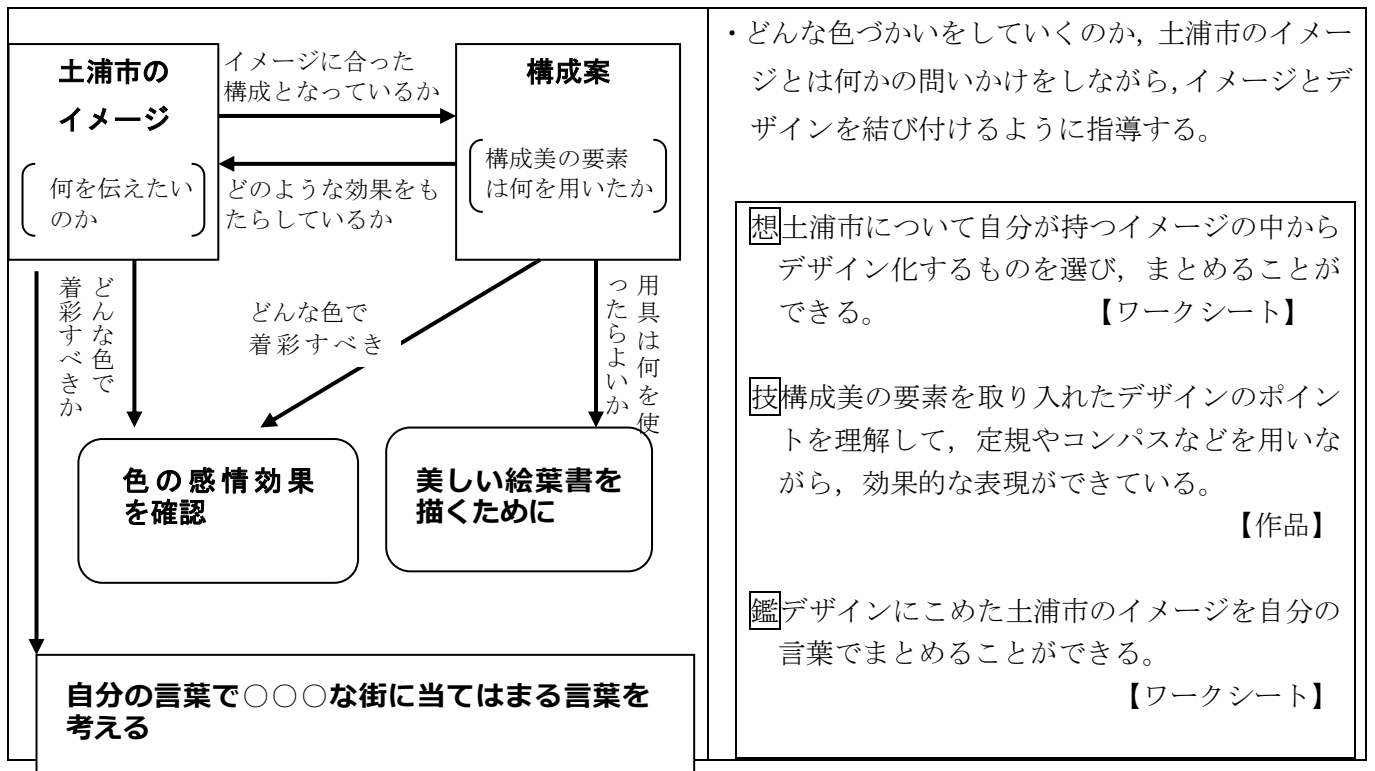
構成美の要素を取り入れたデザインのポイントを理解して、定規やコンパスなどを用いながら、効果的な表現ができています。

② 準備

美術資料集 イメージカラー資料集 画用紙 鉛筆 定規 コンパス トレーシングペーパー

③ 展開

学習活動・内容	指導上の留意点・評価 発問
<p>1 本時の活動内容の確認をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>レンコンを使ったデザイン画を鉛筆で丁寧に描いていこう</p> </div> <p>2 画用紙と前時に完成させた構成案を準備する。</p> <p>3 定規等を使い丁寧にデザインの下絵を鉛筆で描く。</p> <p>4 完成した下絵を見ながら、どんな色で着彩するかを考える。また同時に土浦市のイメージを文章でまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本時の中で、鉛筆による下絵を完成させることが目標であると伝える。 美しい絵ハガキを完成させることが目標であり、自分でデザインした良さを引き立てるためにも、コンパスや定規等を効果的に使用するように伝える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>構成美の要素を少なくとも一つは取り入れたデザイン画を考えていると思います。その構成美の要素を明確に表して下さい。そのため、場合によっては定規などを使ってみましょう。</p> <p>例えば、グラデーションだったら、2cm右へ描く度に横の長さを3cm大きくするとか、グラデーションにするための効果を考えて描いていってください。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の一人ひとりの作品を見ながら、構成美の要素は何を使ったのか、デザインのどの部分の表現に気をつけねばならないかを確認していく。



3 成果と課題

今回余裕のないスケジュールで制作を進めていったにもかかわらず、この課題が未完成で終わった生徒は、長欠の生徒を数名含めて 20 名程で全体の 1 割弱となった。ほとんどの生徒が作品を完成できたということは、今回の題材が概ね生徒にとって適切なものであったと言えよう。ただ、制作後のまとめで、「土浦市のイメージをデザインに表すことはできましたか」の問いに対して、5割の生徒が「できた」と答え、「デザインの分野に興味を持つことができましたか」の問いに対して6割の生徒が「できた」と答えており、デザインの興味は持てても、イメージを表すことができなかったというもどかしさを持った生徒が少なからずいたようである。そのもどかしさは、次の制作への原動力となる貴重なものとも考えられる。そしてその思いを生み出したのは制作方法が簡単で、不十分ながらも自分の力で完成させることができたからこそであろう。しかしそのような感想を持つ生徒は減らすべきで、イメージの明確化とその具現化をどうフォローすべきか、話合いや教師側の助言のあり方を今後工夫していかなければならない。

この課題は、自分の作品がホームページ上でたくさんの人の目に触れるという経験（疑似体験も含む）を通じて、自分のメッセージが不特定の人にどう伝わったのかと考えを巡らすことに意味を持たせている。もちろん見た人との双方向のコミュニケーションが可能になればなお学ぶところは大きいであろうが、それには様々な配慮が必要となり、またある種の危険性も伴うため、今回双方向性は敢えて踏み込まないこととした。それがなくても、自分の作品が誰かの目に触れ、どう感じてもらえるだろうか考えることは、作品をつくる上でも美術の力を感じるためにも大切な姿勢である。普段受動的態度で、もしくは嫌々制作に取り組んでいる生徒にとっては、新たな刺激になり、美術の役割について考え始めるよい機会となるに違いない。

この研究と授業は、まだ途中の段階であるといわねばならない。実は作品を本校のホームページに掲載したところまでで、載った作品を見た生徒の反応を観察するまでには至っていないのである。これは、個人情報取り扱いの手続きに手間取ったため、誠に中途半端な状況でこのレポートをまとめなければならないのが残念であり、自らの不手際を認めざるを得ない。

ただ、「造形教育の広がりを考える」という趣旨から始まったこの試みだが、土浦市の教育委員会に本校のホームページとのリンクの依頼をしたことで、教育委員会の方から市の教育委員会のホームページ上に、市内の小中学校の作品データを集めた新たなカテゴリーをつくるという提案を頂き、更に今回の本校の作品については、絵はがきのデザインであることから、作品をダウンロードできるようにもして下さることとなった。私としては、思いもよらぬことではあったが、これも造形教育の広がりのひとつのかたちとして認められるのではないかと感じた。そしてこれを機に、今後作品を紹介した双方向のコミュニケーションを含めた授業のあり方についても考えていきたいと思った。



豊かな自然と穏やかな街



美しい自然と昼も夜もにぎやかな街



花火のにぎやかな夜。霞ヶ浦はかもめが飛んでいて空気が澄んでいる感じ。レンコンを栽培する田舎街。



環境がよくとてもにぎやかな街



参考文献 中学校学習指導要領解説 美術編